



2月20日 東地申第45号「2024年度営業関係施策（その3）」についての申し入れ

【大崎営業統括センター(大崎駅)】提出!

施策の概要

大崎営業統括センター(大崎駅)においては、3月15日実施でホーム体制の見直しが行われています。この施策では、4番線(山手線外回り)に車掌用 ITV を整備することで立番を廃止し、**営業社員の体制が3徹→2徹1日勤**となります。

大崎駅は山手線の最大の車庫・東京総合車両センターへの入出区をはじめ、埼京線・相鉄線直通・湘南新宿ライン・りんかい線が乗り入れる山手線の“要”の駅である。

山手線

東京総合車両センター入出区

りんかい線

埼京線・相鉄線直通

湘南新宿ライン

大崎駅



- 埼京線・湘南新宿ラインの輸送障害時、山手線ホームは大混雑！
体制縮小は異常時対応力の低下につながる！
- 駅構内の巡回に時間を要しサービス低下も懸念！
組合員・社員がゆとりをもって業務に従事できる環境が必要だ！

<申し入れ内容>

1. 今施策が実施できる根拠を具体的に示すとともに、ホームパートを3徹から2徹1日勤にすることにより安全レベル及びサービスレベルが維持・向上できる根拠を示すこと。
2. 早朝帯は1徹減によりシャッター開扉前に巡回が終わらないため、アコーディオン門扉の移設を行うこと。また南口アコーディオン門扉は巡回終了後に開扉すること。
3. 1徹減のため、夕方以降・早朝帯にこれまで通りの異常時対応が出来なくなるが考えを明らかにすること。
4. 警備員の具体的な業務内容と指揮命令系統を明らかにすること。
5. 車いす対応や遺失物の取り扱い対応の体制について明らかにすること。
6. 作業ダイヤについては現場で働く社員の意見を反映させること。

お客さまの安全と組合員・社員の安心を実現するため、団体交渉に臨みます！